

## 第73回啓明祭 啓明祭実行委員 パネルアート

# みんなで乗り越えよう

2020年10月22日(木)に第73回啓明祭を実施しました。今回の啓明祭テーマは「晶(ひかり)～蒼天を駆ける～」でした。このテーマには「1つの光ではなく、3つの光から成り立っている『晶』のように、啓明祭でも互いを尊重し、輝かせ合うことでもっと明るい光となるようにしていきたい」という思いが込められています。今回の啓明祭は、活動時間の削減や活動内容の制限など、例年とは異なることが多々ありましたが、生徒一人一人が輝きを見つけることができました。さて、啓明祭実行委員会では、この状況で啓明祭を行えることに感謝をしながら活動しました。その中で、医療従事者の方々や地域の方々を少しでも勇気付けたいという思いからパネルアート作品の制作に至りました。

### 作業工程

作品の方向性を決める会議、生徒が原画を作成、ウッドラックパネルへの下書き、色塗りの手順で作業しました。

- 1 プロジェクトメンバーによる会議で、作品の方向性を決定
- 2 ①を踏まえ、生徒が原画を作成
- 3 オーバーヘッドプロジェクター(OHP)を使って原画をウッドラックパネルに投影しながら下書き
- 4 イベントカラー等を使って色塗り作業
- 5 完成!



### 《作品に込めた思い》

文字の周りに咲いている青い花は「ブルースター」と言います。花言葉は「幸福な愛」「信じ合う心」です。皆さんが新型コロナウイルス感染症という壁を乗り越えた先に幸福が待っていることを願い、描きました。2匹の鶴は「鶴の恩返し」をモチーフに、医療従事者への感謝を表しています。また、2匹の鶴が衝突せずに周りを回るように描くことで、乗り越えた先の幸せがずっと続くように描きました。制作にあたり一番凝ったところはブルースターの花びらです。所々のグラデーションが難しく、時間がかかりました。このデザインを思いつくまではすごく長い道のりでしたが、満足のいくパネルが完成したと思います。

医療従事者の方々やこの作品を見てくださった皆様に少しでも希望が芽生えると嬉しいです。